



佐土原ロータリークラブ週報



SERVICE Above Self

超我の奉仕

2005-2006 年度 R I テーマ

会 長：岩 切 正 司 幹 事：柳 田 光 寛
 副 会 長：佐 藤 高 元 会報委員長：林 厚 雄
 会 計：荒 武 義 博
 事 務 局：〒880-0303 宮崎市佐土原町下田島 11703-18
 TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877
 携 帯：090-9596-6114 吉野由里子
 例 会 日：毎週水曜日
 例 会 場：ハイビスカス ゴルフクラブ
 TEL：0985-73-0109

次週 5 月 17 日 プログラム予定

ゲスト卓話

第 927 回 平成 18 年 5 月 10 日 (水)

- 本日のプログラム
- 1. 点 鐘
 - 2. 「手に手つないで」
 - 3. 会 長 の 時 間
 - 4. 幹 事 報 告
 - 5. 今月のセレモニー
 - 6. 会 員 卓 話
 - 7. 点 鐘

このテストは The Four-way Test となっている4つの1つ1つのテストは孤立しているのであって、1つのテストは満足しても他の3つのテストは満足しないのはいけない。

同時に全部満足するものでなければならない。

又真実であれば以下の3つはいつでもよいと云うのではない、真実であってもそれがクラブのため、友人のため業界のためにも不都合であるならば他の方法を講ずべきである。

又医者が患者に対して「貴方の病気は癌ですよ」ということは出来ない。

真実をしゃべる代わりに「嘘も方便」とする場合も考えられてよい。

『1999年3月4日掲載』

第 926 回の記録

平成 18 年 4 月 26 日

★ 会長の時間

会長 岩切正司 君

4つのテストは、1932年シカゴのロータリアンで後に1954-1955年度会長を務めたハーバート・テラーが倒産寸前の、あるアルミニウム会社を救済する方法として創案したものである。

彼は机の上に書き並べた文章を何度も読み返し、又従業員の知恵も借りて事業を真面目に推進して、その中から倒産会社を建て直す為の4つのテストを作り上げたのである。このテストにより労使ともに事業に真剣に取り組み、決して不正に組しなかったのである。

こうして20年の間に負債を返還し、株主に100万ドルの配当金を支払うことが出来た。

★ 幹事報告

柳田光寛 君

- 高鍋ロータリークラブより、30周年記念式典参加に対してのお礼状を戴きました。
- ガバナーエレクト事務所連休のお知らせ
2006年4月29日～5月7日
- 宮崎県中部分区クラブ訪問のお知らせ
5月24日例会日
100%出席でお迎え致しましょう。

★雑誌月間にあたって 週報委員長 林 厚雄

「ロータリーの友の歩み」

1952年度～53年度から日本の地区は、東日本と西日本の2地区に分割されることになることで、前年度の4月に開催されました第60地区の大会で日本の2地区で共通の雑誌を発行することになりました。

それは、日本のロータリアンが分割されてからも緊密に連絡を取り合い、情報を共有化するための機関誌として企画されたのです。

そして1952年8月16日に行われた会合でこの機関誌の名前を「ロータリーの友」としました。

またこの新しい雑誌を縦書きにするか、横書きにするかで意見が分かれ、全会員による投票で二対一の割合で横書きが採用されました。

戦後10年もたっていない時代を考えると、この結果は、当時のロータリアンが、いかに先進的な考えを持っていたかを知ることのできるエピソードです。

しかしその後、俳壇、歌壇など、横組では具合の悪い欄が始まり、これらを縦書きで入れることになり、1972年1月号からは、左から開けると横書き、右から開くと縦書きの現在のような雑誌の形になりました。

そして2002年7月号から紙面を一新し、現在の「ロータリーの友」になっています。

今後も親しみやすい「ロータリーの友」を目指しています。

「ロータリーの友」2003年1月号から



1953年1月号創刊号



1965年5月号



1972年1月号

縦書き横書きに分かれた第一号
表紙は、陣羽織で横書きは前から見たところ、縦書きは後ろから見たところ、というように両面表紙の特徴を生かしています。



2001年11月号



2002年7月号
リニューアル第一号

～ MENO ～

.....
.....
.....
.....
.....

出席状況 第923回 平成18年4月5日

会員数	28名	欠席者数	5名
出席者数	23名	メイクアップ	1名
出席率	82.1%	修正出席率	85.7%

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか